



ワーキングの目標

中山間地域を実際に視察し、地域人材との意見交換を行い、その体験を取組テーマの施策立案に役立てる。



働き方

暮らし方

繋がり方

遊び方

A班(働き方)活動報告

地域の皆様の思いを施策に反映し、皆様の声を届けます。

中山間地域にお住まいの方々にお話を伺い『生の声』をいただきました。
「地元出身の方」「移住して数年の方」「移住して数十年の方」、さらに、働き方も暮らし方も多種多様な人材が共存する、そんな中山間地域の良さを体験させていただきました。
皆様、地元愛にあふれていました～

キーワードをピックアップ

地場産・地域資源

- ・地元でつくったものっておいしい
- ・料理皿に、風景・風土が浮かぶ
- 中山間地域を象徴する食材があると良い？

鳥獣被害

- ・中山間地域は、電気柵が必須
- 農林業の振興には対策必要？

ブランド化

- ・地域資源の発信
- ・地域の人々の活動をブランド化
- 既存の資源を有効活用するには？

地域のつながり

- ・顔の見える関係
- ・移住者を受け入れる風土
- 「つながる」ために必要な環境整備は？



働き方×地域資源

A班の事業案を
次回のもりワークで
発表します！



貴重なお時間をつくっていただき
ありがとうございました！

B班(働き方)活動報告

中山間地域で活躍する方々が感じている地域の魅力と課題を分析しました！

○中山間地域が持つ魅力

- ◇地域の農家、起業家及び芸術家などの横の繋がりが強く、中山間地域で一つのビジネスネットワークが作られている
- ◇中山間地域独自の傾斜のある地形により、他では作れない、独自の農作物が生産できる。地域の農産物を使った地産地消にこだわるレストランもある
- ◇都心から1時間程度で大規模な自然に触れることができる
- ◇芸術性豊かなカリキュラムを受けられるシュタイナー学園の存在

○中山間地域が持つ課題

- ◆農業のみで生計を立てることができない
- ◆農業体験や特産品の販路拡大をしたくても、担い手となる労働者が少ない
- ◆中山間地域の持つ自然や人材などの魅力発信が足りない

中山間地域の農産物



草子農園の
津久井在来大豆の芽



里山津久井をまもる会
で栽培しているナシ

中山間の魅力と課題を踏まえて、B班では中山間地域の振興策として、『中山間地域の資源』と『森ラボを活かした新しい働き方』のコラボレーションを提案します！

中山間地域の資源

コラボレーション！

森ラボを活かした新しい働き方

◎コラボレーションとして考えられる事業案

- ◇中山間地域の観光資源（農業体験や地産地消レストランなど）を活かした森ラボのワーケーション拠点化
- ◇都心の森ラボ活用企業との地元農家とのコラボレーションで農業の6次産業化を促進し、地元農家の効率的な運営を実現 e t c

C班 (暮らし方) 活動報告

地元の方から伺ったこと

中山間地域の魅力・特徴

都会から近い自然あふれる里山
無農薬栽培・食の安全へのこだわり
モノづくりの環境が良い
農業・芸術・文化・教育等、多様な暮らし方
住民同士の温かいつながり

現状と課題

空き家の活用が進んでいない
地域の暮らしについて情報が不足している
30～40代の人口が少ない
空き家物件に対し移住希望者が多い
買い物不便



Cチーム【暮らし方】

まとめ

中山間地域は都会から近い里山という魅力があり、この環境を有効活用した農業やその他さまざまな事業が行われています。また、中山間地域には空き家が多い一方、魅力を求めて移住を希望する人も多くいます。

しかし、空き家の多くは物件として活用できておらず、利用希望者へ十分に行き渡っていないのが現状です。その背景には、持ち主の高齢化や相続などの問題、空き家の活用に対する知識・情報不足などが考えられています。

考察

地元の方が「今あるものを残し、活用していく」ことを大切にされているのが印象的でした。
少子高齢化や人口流出による税収減などの問題に対し、今後中山間地域の振興に向けて新たなものを導入するというよりは、既存の魅力・地域資源の利活用や利活用を促進する仕組みづくりが求められていると感じました。

Cチームのこれから

地元のコミュニティを尊重することを念頭に、
空き家等既存ストックの利活用促進に係る取り組み や 中山間地域の多様な暮らし方の
発信に係る取り組み 等について検討してまいりたいと思います。

D班 (遊び方) 活動報告

中山間地域で活動している住民の方に地域の魅力・将来どんな地域にしていきたいかを聞いてきました！

中山間地域にあるものだけで何かやろうとするのではなく、自分が興味のあるものを持ってくる！
女子向け木こりツアーの開催、アウトドアメーカーと何か組めないかな？？



相模湖

来る人を受け入れる⇒面白い人が集まってくる＝多様性
中心のないネットワーク＝みんなが好きなことをやっている。



相模湖や上野原と連携することが大切！
点と点をつないで面を活かしたまちづくりを！
若者の挑戦を応援する仕組みづくりを！
湖を利用したまちづくりをしたい！



藤野

地域の方の**声**をもとに「**人**」×「**地域**」×「**遊び**」をテーマにメンバーと意見交換し、未来の中山間地域に向けて施策を考えていきます！



E班(遊び方)活動報告

中山間地域で活躍する方々が感じる魅力と課題について

～現地視察～



相模湖湖畔にて



「百笑の台所」にて

～森ラボでの意見交換～



森ラボにて

地域で活躍する方々に聴きました！

中山間地域の魅力

【こんな環境！】

- ・山や湖、河川などの自然
- ・都心⇄中山間地域の交通アクセス良好
(中央線、中央道、圏央道)

【地域の声】

- ・一度遊びに来ると二度、三度とリピーターになる人が多い
 - ・「面白い人が集まっていることが財産」
→観光地として多くの人々が訪れる場所ではなく目的をもって訪れる人がくる地域を目指している
 - ・芸術家だけでなく起業家等の移住も増加
- 都心部にはない魅力がある地域**

中山間地域の課題

- ・道が狭い、駐車場が少ない
- ・「中山間地域と言ったらこれ！」という「シンボル」がない
- …魅力の発信方法
- …既存の物を活かすことも大事だが、「全国から人が集まる大人のホビー」を自然の中で展開
- …特定の地域に限定せず、近隣自治体との連携も視野
- ・今のコミュニティを大事にし、観光地化に消極的な地域の方もいる

人(コミュニティ)、環境をいかに結び付け、この魅力を知ってもらうか

施策立案に向けたE班の取り組み

- ・テーマを絞った班独自のフィールドワーク
- ・ワーキングで繋がった地域の方へのインタビュー
(地域への想いを聞かせてください！)
- ・先行事例やデータ収集を進めています！

とにかく足を運んで話を聞きます！



まだまだ検討段階ですが・・・アイデアの一部

- ・観光拠点を整備(道の駅、充実した公園、駅周辺の整備、日帰り温泉など)
- ・小型モビリティを活用し、点在する観光地を繋ぐ
- ・企業とコラボし、知られざる魅力を地域外へ発信！



F班（繋がり方）活動報告

F班の取り組み

わたしたちF班は、「**繋がり方**」をテーマに取り組んでいます。
中山間地域の住民のみなさんに、より住みたい・住み続けたい
と思える環境づくりを検討しています。



ワーキングを通じて感じたこと

- 中山間地域の魅力
 - ・豊かな自然
 - ・色々な立場の人が共存しているコミュニティ
 - ・顔が見える関係性、**人が人を呼ぶつながり**
(近隣住民との関係性、少人数学級としての良さ等)
- 中山間地域の課題
 - ・移住者と昔から地域に住んでいる人とのつながり
 - ・小中学校の生徒数の減少

検討のポイント！？

デジタル・ITの活用

豊富な地域資源と人材



これからについて

「つながり」を強化し、中山間地域を「住みやすい・住み続けたい」まちにするための事業を検討していきます！



視察を受け入れて頂いた地域の皆様のコメント

潤水都市 さかみほら

時間があればあるだけ話し込めるくらい面白かったです。事前に質問も用意されていたようで良かったです。

ワカモノたち、キラキラした目で、久しぶりに若いパワーもあって元気になりました！！

質問していただきお話ししやすかったです。これからどういう企画がでてるのか楽しみです。

皆さんが真剣に話をしてくれて嬉しかったです。またの機会がありましたら、ぜひ誘ってください。

若い職員の方々に地元の活動を知ってもらえる機会を頂戴し、本当に有りがたく感じております。

表情からも意欲旺盛な様子がうかがえた。もう少しお話ししたかった。若い職員のみなさんの想いが伝わってきて、期待したい方々ばかりだった。